

## 令和2年度第3回誰もが共に暮らすための市民会議アンケート結果

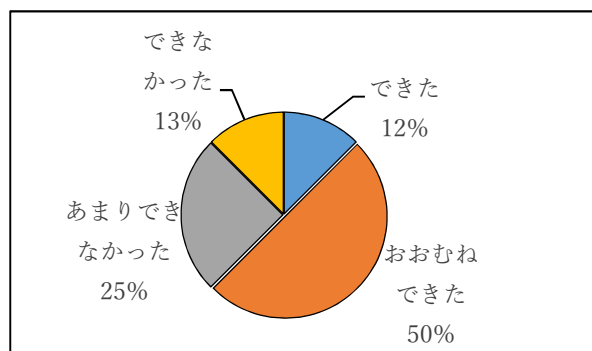
令和2年度第3回誰もが共に暮らすための市民会議（書面会議）において実施しました、アンケートについて結果をまとめました。アンケート結果につきましては、今後の市民会議の運営や、障害者施策の参考とさせていただきます。ご協力いただきましてありがとうございました。

意見シート提出数	アンケート回答数	アンケート回収率
19名	16件	84%

### ○市民会議に関する設問

問1 今回は書面による開催でしたが、意見シートを提出することで、あなたの考えを述べることはできましたか。

できた	おおむねできた	あまりできなかった	できなかった	無回答
2件	8件	4件	2件	0件



問2 その他、今回の市民会議に関するご意見についてご自由にお書きください。（一部抜粋）

- ・ワークシートでの参加だが、文章的にうまく伝えられたか、不安はある。手話通訳者を通しての市民会議が必要と思っている。
- ・オンライン会議は、できる限りに控えていただきたい。聞こえない人にとっては、ICTの技術も不十分である。
- ・コロナ禍での対応も大変だったと思います。とは言え、年度最後の市民会議なので、来年度以降に向けての話し合いがしたかったです。時節柄、コロナウィルス感染症関連の意見シートの回答でもいいかもしれませんが、こんなときこそ、いろんな方々とも意見交換がしたかったです。
- ・書面での開催は、一方的な意見を述べるだけになってしまうので、色々な方との意見交換ができないことは残念だと思うが、限られた時間内では、手短かにまとめた意見も言えなかったりするので会場での開催ができるようになって、書面での意見集約の方法は、継続していただきたい。
- ・書面での会議は気持ちが入らず困っています。会場を3か所くらい設けていただき、少人数で開催してはいかがでしょうか。最近は障がい者も多くなりましたので、いろいろな面で助け合いが必要となりますので、全体的なことを考えるのに必要かと思えます。
- ・今後の会議場における市民会議開催時においても十分な時間が取れないと思っています。したがって、今後の会議場での市民会議においてもアンケート用紙による意見書も提出できるように望みたい。
- ・他の方の意見を聞けないのが残念だが、書面でも開催してもらえてよかった。
- ・第2回目の市民会議の意見の中にもあったが、ノーマライゼーション条例について、障害当事者、施設、関係団体等は知っているが、一般の市民は知らない人が多いのが非常に残念である。今年度は障害者の集いもオンライン開催となり、市民の目につく機会が少なかったように感じる。市民会議について、もっと周知を行い、参加者が増えるとより良い会議になるのではないかと思う。